

巻頭言	「21世紀の日本天文学会に期待する」	尾崎洋二	9
EUREKA 〈研究紹介〉	電波望遠鏡用フィルムレンズアンテナの開発	氏原秀樹	10
	影絵の電波天文学 自由-自由吸収でさぐる電波銀河の中心部	亀野誠二	20
天球儀 〈読物〉	もう二つの夏の学校 —「数値天体物理学夏の学校」事務局—	大原謙一 富阪幸治 花輪知幸	28
書評	"Very Long Baseline Interferometer"	堀内真司	33
雑報	今世紀の天文学を振り返って 「人は町の、村の、国の顔であり、宝でもある」	弓 滋	34
シリーズ	《海外研究室事情(13)》 Department of Applied Mathematics and Theoretical Physics, University of Cambridge ケンブリッジ大学応用数学及理論物理学科	坂井伸之	36
雑報	日本天文学会 早川幸男基金による 渡航報告書	今西健介	38
月報だより			39

[表紙説明]

GPS 電波源 NGC 1052 の中心部を撮影したカラー電波写真。2.3 GHz・2.3 GHz・8.4 GHz・15.4 GHz の電波写真をそれぞれ赤・緑・青に割り当てて色合成したもの。分解能は3ミリ秒角×1.5ミリ秒角で、0.3パーセク×0.15パーセクに相当する。両側にのびる電波ジェットは両端で本来の「赤色」をしているが、中心部分は低周波の電波を選択的に吸収して青くなっている。低い周波数で観測すると、冷たいプラズマの分布が「影絵」として浮かび上がってくる。

(EUREKA「影絵の電波天文学」参照)

[表紙のデザインコンセプト]

単純ですが星の軌道をモチーフにしています。特にモデルにしている天体はありません。あくまでもデザインイメージです。誌名タイトルのバックの円弧は望遠鏡の視野をイメージしています。執筆される方々と、読者の方々はそれぞれご専門の分野で研究をされていることと思いますが、満天の星空を見上げるという原点でデザインを考えてみました。今後はこの形を元に、色の変化などで展開していこうと考えております。(松本成美)